

■ 附置研究所

研究所	部門数	研究目的及びその研究部門
金属材料研究所 (全国共同利用研究所)	28	材料科学に関する学理及びその応用の研究 金属材料学、結晶物理学、磁気物理学、量子表面界面科学、低温物理学、低温電子物性学、放射線金属物理学、※材質制御学、結晶欠陥物性学、高純度金属材料学、計算材料学、材料放射工学、原子力材料物性学、原子力材料工学、電子材料物性学、※材料設計学、ランダム構造物質学、生体材料学、超構造薄膜化学、非平衡物質工学、磁性材料学、結晶材料化学、特殊耐熱材料学、複合機能材料学、加工プロセス工学、放射線金属化学、※材料プロセス評価学、◎ナノ金属高温材料学
加齢医学研究所	7	加齢医学に関する学理及びその応用の研究 遺伝子制御、分化・発達医学、臓器病態、腫瘍制御、加齢脳・神経、◎臨床医工学(フクダ電子) ◎抗感染症薬開発
流体科学研究所	4	流動現象に関する学理及びその応用の研究 極限流、知能流システム、マイクロ熱流動、複雑系流動
電気通信研究所 (全国共同利用研究所)	4	高密度及び高次の情報通信に関する学理並びにその応用の研究 情報デバイス、ブロードバンド工学、人間情報システム、システム・ソフトウェア
多元物質科学研究所	7	多元的な物質に関する学理及びその応用の研究 多元設計、多元制御、多元解析、融合システム、◎窒化物結晶(三菱化学・日本製鋼所)、◎有機ナノ結晶科学技術(富士写真フイルム)、◎先端圧電セラミックス(富士セラミックス)

※は客員研究部門を、◎は寄附研究部門を表す。

■ 学内共同教育研究施設等

施設名	設置目的
東北アジア研究センター	東北アジア(東アジア及び北アジア並びに日本をいう。)地域に関する地域研究を学際的及び総合的に行う。
高等教育開発推進センター	高等教育等に関する研究開発、企画及び支援を行うとともに、併せて教育内容及び教育方法の高度化を推進する。
学術資源研究公開センター	標本、本学の歴史に関する資料その他の本学が所蔵する学術資料の収集及び保管、植物園の敷地内に生育する生物資源の保全並びに学術資料及び生物資源に関する研究を行い、もって学内の教育研究に資するとともに、広く一般に公開して社会教育の振興に寄与する。
国際高等研究教育機構	異分野の融合領域における新たな研究分野の創出並びにその学理及び応用の研究並びに国際的に通用する若手研究者の養成の推進を図り、もって本学の研究教育の高度化に資する。
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	サイクロトロン設備を多目的利用に供し、高レベル及び短寿命のラジオアイソトープの取扱設備を共用させるとともに、放射線の安全管理に係る全学的業務を行い、併せて加速器並びに測定器に係る原子核物理学、核薬学、サイクロトロン核医学及び放射線管理に関する研究開発を行う。
未来科学技術共同研究センター	社会の要請に応える新しい技術・製品の実用化並びに新しい産業の創出を社会へ提案することを目指し、産業界等との共同研究の推進を図り、先端的かつ独創的な開発研究を行う。
学際科学国際高等研究センター	部局間の連携により、未踏学際領域を開拓し、国際化を進めて最先端学術分野の創生を目指した研究を行う。
研究教育基盤技術センター	研究教育の推進に資する大型研究設備を設置し、及び管理運営することにより、本学の教員その他これに準ずる者等の共同利用に供するとともに、低温寒剤の安定供給及び低温技術の指導を行う。
情報シナジー機構	研究、教育等に係る情報化を推進するための実践的調査研究、基盤となる設備等の整備及び提供その他専門的業務を行う。



工学研究科



川内北キャンパス